

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、本日開催の取締役会において、名古屋駅地区再開発計画等のスケジュールを変更し、現計画の再検証及び見直しに着手することを決議いたしました。

過日、株主の皆様には、第 162 期中間期株主通信において、現計画の概要についてご報告いたしましたが、この度かかる決定に至りましたので、ここに改めてご案内申し上げます。

なお、この度決定した内容の詳細は、別紙のとおりです。

今後、ただちに現計画の再検証及び見直し検討に着手し、その方向性等がまとまり次第、改めてお知らせいたします。

この度のスケジュール変更等に伴い、株主の皆様をはじめとする関係の方々にはご心配をおかけいたしますが、当社の状況に鑑みご理解を賜るとともに、引き続き当社グループに変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2025 年 12 月 12 日  
名古屋鉄道株式会社

2025年12月12日

各位

会社名 名古屋鉄道株式会社  
代表者名 取締役社長 高崎 裕樹  
(コード：9048、東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 執行役員 江尾 国博  
総務部長兼広報部長  
(TEL. 052-588-0813)

名古屋駅地区再開発計画及び名鉄名古屋駅再整備計画の  
スケジュール変更ならびに現計画の再検証及び見直し着手について

当社は、2025年3月24日付の「名古屋駅地区再開発計画について」及び2025年5月26日付の「名古屋駅地区再開発計画に関する共同事業者間の事業化の決定及び名鉄名古屋駅再整備計画等について」において公表しました、名古屋駅地区再開発計画及び名鉄名古屋駅再整備計画（以下、総称して「現計画」といいます。）について、本日開催の取締役会において、下記のとおり現行のスケジュールを変更するとともに、現計画の再検証及び見直しに着手することを決議しましたので、お知らせします。

## 記

## 1. スケジュールの変更

## (1) スケジュール変更の理由

上記計画について、解体・新築工事の施工予定者選定を進めてきましたが、応募参加者から、人材確保難により現計画での解体・新築工事の施工体制の構築が困難であることを理由に、2025年11月26日付で入札辞退届が提出されました。これにより、解体工事着手等が大幅に遅延することが確実となったためです。

## (2) スケジュール変更の内容

	変更前	変更後
解体着工	2026年度	未定
新築着工	2027年度	未定
1期本工事竣工	2033年度	未定
2期本工事竣工	2040年代前半	未定

## 2. 現計画の再検証及び見直し着手

### (1) 現計画の再検証及び見直し着手の理由

上記の施工予定者選定は、現計画の事業規模、工事の難易度、長期にわたる工事期間等を勘案して進めてきましたが、現計画に対応する施工体制の構築は困難であるとの申し入れがありました。加えて、概算工事費及び工事期間が、技術協力者（ゼネコン各社）とともに相当期間をかけて検討・精査した当初想定を大幅に上回る見込みとなり、事業を推進する前提が大きく変わったためです。

### (2) 再検証及び見直し対象となる計画

- ・名古屋駅地区再開発計画（バスターミナル再整備含む）
- ・名鉄名古屋駅再整備計画

### (3) 再検証及び見直し着手の時期

ただちに、現計画の再検証及び見直し検討に着手します。

見直しの方向性などは、まとまり次第、改めてお知らせします。

## 3. グループ既存施設への主な影響

スケジュール変更ならびに現計画の再検証及び見直し着手による当社関連施設の営業予定は以下のとおりです。

- ・名鉄百貨店本店（本館、メンズ館）の営業終了：2026年2月28日（予定どおり）
- ・名鉄バスセンター、名鉄グランドホテル、スカイパーキング等：未定

## 4. 今後の見通し

本件による当社連結業績への影響は現在精査中です。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせします。

以上

25-12-12

## 名古屋駅地区再開発計画等のスケジュール変更ならびに 現計画の再検証および見直し着手について

名古屋鉄道は、名古屋駅地区再開発計画および関係する諸計画について、共同事業者※間での事業化決定を2025年5月26日付で公表して以降、事業推進に関わるさまざまな業務を進めてまいりましたが、現行のスケジュールを変更するとともに、現計画の再検証および見直しに着手することとなりました。

概要は下記のとおりです。

※名古屋鉄道株式会社、名鉄都市開発株式会社、日本生命保険相互会社、近畿日本鉄道株式会社、近鉄不動産株式会社の5者

### 記

#### 1. スケジュール変更について

##### (1) スケジュール変更の理由

上記計画について、解体・新築工事の施工予定者選定を進めてきましたが、応募参加者から、人材確保難により現計画での解体・新築工事の施工体制の構築が困難であることを理由に、2025年11月26日付で入札辞退届が提出されました。これにより、解体工事着手等が大幅に遅延することが確実となったためです。

##### (2) スケジュール変更の内容

	変更前	変更後
解体着工	2026年度	未定
新築着工	2027年度	未定
1期本工事竣工	2033年度	未定
2期本工事竣工	2040年代前半	未定

#### 2. 現計画の再検証および見直し着手について

##### (1) 現計画の再検証および見直し着手の理由

上記の施工予定者選定は、現計画の事業規模、工事の難易度、長期にわたる工事期間等を勘案して進めてきましたが、現計画に対応する施工体制の構築は困難であるとの申し入れがありました。加えて、概算工事費および工事期間が、技術協力者(ゼネコン各社)と共に相当期間をかけて検討・精査した当初想定を大幅に上回る見込みとなり、事業を推進する前提が大きく変わったためです。

##### (2) 再検証および見直し対象となる計画

- ・名古屋駅地区再開発計画(バスターミナル再整備含む)
- ・名鉄名古屋駅再整備計画

#### 3. グループ既存施設への主な影響

スケジュール変更ならびに計画の再検証および見直し着手による当社関連施設の営業予定は以下のとおりです。

- ・名鉄百貨店本店(本館、メンズ館)の営業終了:2026年2月28日(予定どおり)
- ・名鉄バスセンター、名鉄グランドホテル、スカイパーキング等:未定

#### 4. 今後の見通し

ただちに、現計画の再検証および見直し検討に着手します。  
また、共同事業者とも、本件について協議を行っております。  
見直しの方向性などは、まとまり次第、改めてお知らせします。

今回のスケジュール変更等に伴い、これまで本事業に多大なご支援ご協力いただいた関係者の皆さまにはご心配、ご迷惑をおかけしますが、本事情をご賢察の上、何卒、ご理解のほどよろしくお願いたします。

以上

# 「名古屋駅地区再開発計画等のスケジュール変更ならびに現計画の再検証および見直し着手について」 社長会見説明内容

・日時 2025年12月12日(金) 15:30～

本日はお忙しいところ、また会見当日のご案内にもかかわらずお集まりいただき、ありがとうございます。

当社は、名古屋駅地区再開発計画および関係する諸計画について、5月26日に共同事業者間での事業化決定をお知らせして以降、事業推進に関わるさまざまな業務を進めてまいりました。

しかしながら、このたび、解体および新築工事の施工予定者の選定過程におきまして、応募参加者から人材確保難のため計画に対応する施工体制の構築が困難であることを理由とした入札辞退届が提出され、当初予定していた来年度中の解体工事に着手できない状況となりました。関係者の皆さまに、いち早くこうした事実をお伝えすることが必要と判断したため、この場を設けさせていただいた次第です。

この状況を受けまして、今回、既にお知らせしておりました現行のスケジュールを変更するとともに、計画の再検証および見直しに着手することといたします。

まず、スケジュール変更についてご説明いたします。

先ほども申し上げましたが、計画における応募参加者から、人材確保難により現計画での解体および新築工事の施工体制の構築が困難であることを理由に、2025年11月26日付で入札辞退届が提出されました。これにより解体工事着手等が大幅に遅延することが確実となり、スケジュールの変更をせざるを得ない状況となりました。

計画では、解体着工は2026年度、新築着工は2027年度、1期本工事竣工は2033年度、2期本工事竣工は2040年代前半としておりましたが、今回、全て未定に変更いたします。

次に、計画の再検証および見直し着手についてご説明いたします。

この計画は、延床面積52万㎡という大規模な事業であり、周囲を鉄道や地下街に囲まれた敷地という難易度の高い工事であります。さらに、10年以上の長期にわたる工事期間なども勘案して、特殊な条件に対応できるゼネコンを対象に施工予定者の選定を進めてきました。

本年3月の事業化決定に至るまでの約2年間、日建設計さまや今回の応募参加者であるゼネコンも技術協力者として参画し、施工計画や工事工程などを詳細に検討し精査を進めてきました。工事費につきましても技術協力者とともに検討し、さらに高騰リスクも認識して相当の予備費も見込んだ上で事業化を判断してまいりました。

しかしながら、このたび応募参加者から、この計画が持つ事業規模と工事の難易度に対応できる施工体制の構築が困難であるとの申し入れがありました。さらに応募参加者から

辞退届とともに参考として提出された見積もりは、再開発事業費のうちの工事費が大幅に増額しておりました。内容は現在精査中ですが、倍額に近いものとなっております。このようにスケジュールが当初予定から大幅に遅延する見込みとなったこと、工事費に関しても極めて状況の変化が激しいことなど、事業を推進する前提が大きく変わったことを踏まえ、現在の計画を精査、再検証するとともに、見直しに着手することといたしました。

再検証および見直し対象となる計画は、「バスターミナルの再整備を含む名古屋駅地区再開発計画」と「名鉄名古屋駅再整備計画」です。

続きましてグループ既存施設への主な影響についてです。

名鉄百貨店本店の営業終了については、当初予定通り 2026 年 2 月 28 日を予定しております。一方、今回のスケジュール変更や計画見直しの着手を受け、営業終了をご案内しておりました名鉄バスセンター、名鉄グランドホテル、スカイパーキング等については営業終了時期を未定とさせていただきます。

最後に今後の見直しについてです。

本日までご説明させていただきました状況の変化を受け、ただちに、計画の再検証および見直し検討に着手いたします。また共同事業者とも本件について協議を行ってまいります。なお、見直しの方向性などは、まとまり次第、改めてお知らせいたします。

今回の結果については大変重く受け止めております。

これまで本事業に多大なご支援ご協力いただいた関係者の皆さまにはご心配をおかけし、地域の皆さまにおいても名古屋駅地区が大きく変貌する未来を楽しみにしていただいていたかと推察しておりますが、本事情をご賢察の上、何卒、ご理解のほどよろしく願いいたします。

既にお知らせしていた再開発計画のスケジュール変更等をせざるを得ない状況となりましたが、計画を白紙にするわけではなく、計画の再検証と見直しに着手するものです。名古屋が“選ばれる都市”になるため、公共交通の利便性向上と、魅力ある「まちづくり」「地域づくり」に取り組むことは当社としての使命であり断固たる決意を持って今後も取り組んでまいります。

説明は以上となります。

最後に私より一言申し上げます。

私自身、20 年近くこの計画に携わり、当初から非常に難しいプロジェクトであると認識していました。それでも幾多の困難を乗り越え、多くの関係者の協力を得て、今年ようやく地権者とともに事業化の決定にまで漕ぎ着けることができました。

施工予定者選定の前から、施工予定候補者も含めたゼネコンの技術協力者とも十分に時間をかけて検討を重ね、精査してきました。

いよいよ建設着手に進もうとする段階で、このような事態に直面するとは全く想定しておらず、無念の思いでいっぱいです。

ただちに計画の再検証と見直しに着手いたしますが、公共交通の利便性向上と、魅力ある「まちづくり」「地域づくり」に取り組む姿勢は、私の中で、今後も決して揺らぐことはありません。

しばらく時間をいただくこととなりますが、26年度中になんらかの方向性をお示したいと考えております。交通事業者としての使命を果たし、地域の魅力をさらに高める計画へと再構築していきたいと、私は考えております。どうかこれからも、皆さまの力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。